

瓦の歴史あれやこれや

会長コラム

なぜ孫七瓦なの
(第三回 瓦の種類と産地)

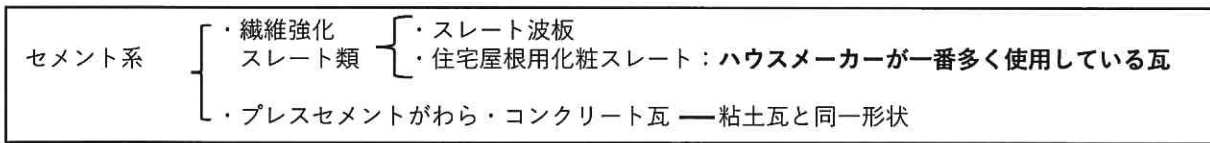
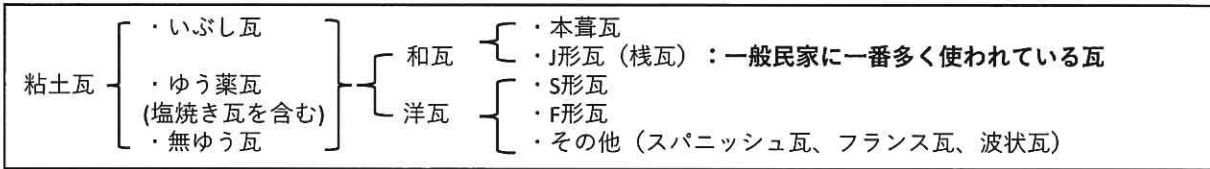
江戸時代の瓦作りで注目される変化の一つに、本葺瓦の軒平瓦の模様部分が中央寄りに狭くなつた事があります。どのような模様を刻んでもそれまでは屋根に葺き上げてしまえば軒丸巴で隠れていた模様の外縁部分が広くなつた事により模様が隠れなくなりました。千年もの長い間、なぜその事に気が付かなかつたのでしょうか。



瓦葺き建物の普及に大きく貢献した「棧瓦」の発明は江戸時代。瓦作りは産業として次第に確立していくことになりました。

瓦は日本全国、原料の粘土が産する所どこでも製造されていますが、愛知県三河地方の三州瓦、島根県の石州瓦、兵庫県の淡路瓦が現在、日本粘土瓦の三大産地です。その他にも、主なところ西日本では京都、泉州、奈良、三重、岐阜、福井、愛媛などがあり、東日本では静岡、新潟、埼玉、福島などがあつて、各地方の特質を發揮しています。粘土瓦には日本工業規格JISがあり、瓦の形状（J型、S型、F型）による寸法規格と瓦の品質（曲げ破壊荷重・吸水率など）規格があります。このJIS規格が守られていない瓦もありますのでご注意ください。また、平成30年の台風被害で修理困難や資材調達に長期化を招いたのが、建築当時流行つた瓦が生産終了となつていたり、輸入屋根材など。一生モノの家屋には10年後、30年後といった長期スパンでのメンテナンスを考えた屋根材選びがとても大切です。

主な屋根葺材の種類



孫七瓦工業株式会社の経営理念 II 目的理念

私たちは、日本建築の文化の継承と、伝統を活かした技術革新を通じて社会に貢献します。

行動理念

一、私たちは、安全で安心できる快適な住まいのある暮らしを提供します。(科学性)

一、私たちは、社会に信頼される会社となり、地域社会の発展に貢献します。(社会性)

一、私たちは、共に学び、共に育ち、全社員の幸福を追求します。(人間性)

この経営理念は孫七瓦工業株式会社が継続的・計画的に社会に役立つ企業としての根本的な価値基準です。

取り上げてほしいテーマや皆様のお屋根にまつわる体験談・お勧めのカフェや奈良のお勧め情報なども随時募集しております。

まごひち瓦版は不定期発行です、バックナンバーは弊社ホームページでご覧いただけます。かわら版の送付停止をご希望の方は編集部までご連絡下さい。ご連絡と発送が前後した場合は次号より停止させていただきます。

〒636-0143 奈良県生駒郡斑鳩町神南3-13-13 孫七瓦工業(株) まごひち瓦版編集部
☎ 0745-74-1218 HP <https://www.magohichi.com>